

琉球大学学術リポジトリ

概要、凡例

メタデータ	言語: 出版者: 琉球大学資料館 (風樹館) 公開日: 2014-08-11 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: - メールアドレス: 所属:
URL	http://hdl.handle.net/20.500.12000/29414

概要

- (1) 本目録に収録されている造礁サンゴの骨格標本は、全て沖縄環境科学研究所（現在の沖縄環境科学センター）が行った沖縄島中城湾海洋生態調査の際に採集されたものである。正確には、当時琉球大学工学部に所属し、湾内での造礁サンゴの分布調査を依頼された山里清氏、西平守孝氏と安元実氏の3名が、1975年12月から1976年4月の間に、中城湾内（ただし南部を除く）の全23地点から採集した標本である（山里・西平, 1977）。それらの標本のうち、採集年月日、採集地点や採集水深などの情報が残されていた中城湾産の造礁サンゴ（主に有藻性イシサンゴ類、一部に無藻性イシサンゴ類とヒドロサンゴ類を含む）骨格標本を収録した。
- (2) 本目録に収録されている標本数は591点、149種である。そのうちの139種が図録に掲載されている。また、これらの中には、種レベルでの同定が困難で、未同定種もいくつか含まれている。
- (3) 本目録に記載されている造礁サンゴの同定・分類は、基本的に西平・Veron (1995) と Veron (2000) に従っている。ただし、クサビライシ科については、より詳細な分類学的検討がなされている Hoeksema (1989) と Gittenberger et al. (2011) に従った。同様の理由で、ヒラフキサンゴ科のセンベイサンゴ属については Dinesen (1980) に、ミドリイシ科のミドリイシ属とニオウミドリイシ属については Wallace (1999)、Wallace et al. (2007) と Wallace et al. (2012) にそれぞれ従った。近年、分子系統解析結果を考慮した造礁サンゴの新たな分類体系が提案されている (Stefani et al., 2008; Benzoni et al. 2010, 2012; Gittenberger et al., 2011; Budd et al., 2012)。これらの研究やその他の分類学的研究 (Razak and Hoeksema, 2003) によって、学名や分類学的位置が変更となった分類群については、その学名や分類体系に従って同定・分類されている。なお、こうした造礁サンゴの分類学的再検討は現在も引き続き行われており、一部の分類群においては、今後も科名や属名の変更が行われる可能性がある (深見 印刷中)。標準和名については、主に西平・Veron (1995) に従っている。また、これまでヤスリサンゴ科 Siderastreae Vaughan and Wells 1943 に含まれていたアミメサンゴ属やヤスリサンゴ属などの一部の属は、現在 Stefani et al. (2008) や Benzoni et al. (2012) で採用あるいは新提唱された Psammocoridae Chevalier and Beauvais, 1987 と Coscinaraeidae Benzoni, Arrigoni, Stefani and Stolarski, 2012 に含まれている。よって本目録では、前者にアミメサンゴ科という新称和名を与え、後者については従来のヤスリサンゴ科という和名を踏襲した。Budd et al. (2012) で採用された Lobophylliidae Dai and Horng, 2009 の標準和名については、深見 (印刷中) に従ってオオトゲサンゴ科とした。Veron (2000) で新提唱された Euphylliidae Veron, 2000 は、Euphylliidae Alloiteau, 1952 のホモニムとされている (ICZN, 2011)。よって本目録では、前者ではなく後者に対してハナサンゴ科という新称和名を与えた。さらに、西平・Veron (1995) で未掲載あるいは掲載されているものの標準和名が与えられていなかった *Dipsastraea truncata* (Veron, 2000) と *Favites stylifera* Yabe and Sugiyama, 1937 については、その骨格形態の特徴からそれぞれキザハシキクメイシとミゾカメノコキクメイシという新称和名を与えた。なお、前者については、ICZN (2011) に基づき *Dipsastrea truncatus* ではなく *D. truncata* と表記している。その他、日本初記録となる *Cyphastrea confesta* Nemenzo, 1959 については、生時の特徴に基づいてマダラトゲキクメイシという新称和名を与え、本目録に掲載した。目録及

び図録中での種名の配列については、まずイシサンゴ目、次にヒドロサンゴ目の順になっている。これらの目内での配列については、まずサンゴの科名がアルファベット順、次に属名そして種小名が同様にそれぞれアルファベット順となっている。

(4) 種同定が困難とされる一部の分類群の同定に際しては、以下の方々からの協力を得た。

- ・ミドリイシ科ミドリイシ属 (下池・鈴木・梶原)
- ・ミドリイシ科コモンサンゴ属 (野村)
- ・ヒラフキサンゴ科 (松本)
- ・クサビライシ科 (立川・野中)
- ・サザナミサンゴ科 (深見・永田)
- ・ハマサンゴ科ハマサンゴ属 (横地)

謝辞

沖縄環境分析センター環境調査部の伊藤馨司氏と上原秀貴氏、沖縄美ら島財団総合研究センターの山本広美氏には、標本の整理や標本ラベルの作成にご協力いただいた。沖縄美ら島財団総合研究センターの西平守孝氏と沖縄環境科学センター環境科学部の長田智史氏には、これまでの標本の整理状況や該当する標本の所在と参考文献についてご教授いただいた。日本造礁サンゴ分類研究会の会員の皆様には、造礁サンゴの分類に関する最新の知見や、種の同定基準についてのご意見や情報をいただいた。以上の方々には厚くお礼申し上げます。またサンゴ類標本の整理に際しては、平成22・23年度海洋博覧会記念公園管理財団調査研究助成事業助成金(研究代表者：杉原薫)、平成23・24年度科学研究費補助金基盤研究(B)(課題番号22370033, 研究代表者：深見裕伸)、同補助金新学術領域研究(課題番号20121006, 研究代表者：茅根創)、そして国立環境研究所地球環境研究センター海洋モニタリング事業(温暖化影響)による支援を受けています。本目録は、国立大学法人琉球大学の平成25年度資料館収蔵資料の教育・研究利用のための基盤整備と学術情報の公開に関する事業により作成されました。

参考文献

- Budd, A. F., Fukami, H., Smith, N. D., Knowlton, N. (2012) Taxonomic classification of the reef coral family Mussidae (Cnidaria: Anthozoa: Scleractinia). *Zoological Journal of the Linnean Society* 166 : 465–529
- Benzoni, F., Stefani, F., Pichon, M., Galli, P. (2010) The name game: morpho-molecular species boundaries in the genus *Psammocora* (Cnidaria, Scleractinia). *Zoological Journal of the Linnean Society* 160: 421–456
- Benzoni, F., Arrigoni, R., Stefani, F., Stolarski, J. (2012) Systematics of the coral genus *Craterastrea* (Cnidaria, Anthozoa, Scleractinia) and description of a new family through combined morphological and molecular analyses. *Systematics and Biodiversity* 10: 417–433
- Dinesen Z. D. (1980) A revision of the coral genus *Leptoseris* (Scleractinia: Fungiina: Agariciidae). *Memoirs of the Queensland Museum* 20: 181–235
- 深見裕伸 (印刷中) キクメイシ科およびオオトゲサンゴ科の分類体系の改変の理由. 日本サンゴ礁学会誌
- Gittenberger, A., Reijnen, B. T., Hoeksema, B. W. (2011) A molecularly based phylogeny reconstruction of mushroom

corals (Scleractinia: Fungiidae) with taxonomic consequences and evolutionary implications for life history traits.

Contributions to Zoology 80:107-132

Hoeksema, B. W. (1989). Taxonomy, phylogeny and biogeography of mushroom corals (Scleractinia: Fungiidae).

Zoologische Verhandelingen 254 : 1-295

ICZN (2011) Coral taxon names published in 'Corals of the world' by J.E.N. Veron (2000): potential availability

confirmed under Article 86.1.2. *Bulletin of Zoological Nomenclature* 68: 162-166

西平守孝・Veron, J. E. N. (1995) 日本の造礁サンゴ類. 海游舎, 東京

Razak, T. B., Hoeksema, B. W. (2003) The hydrocoral genus *Millepora* (Hydrozoa: Capitata: Milleporidae) in

Indonesia. *Zoologische Verhandelingen* 345: 313-336

Stefami, F., Benzoni, F., Pichon, M., Cancelliere, C., Galli, P. (2008) A multidisciplinary approach to the definition of

species boundaries in branching species of the coral genus *Psammocora* (Cnidaria, Scleractinia). *Zoologica*

Scripta 37 : 71-91

Veron, J. E. N. (2000) Corals of the World. Australian Institute of Marine Science, Townsville

Wallace, C. C. (1999) Staghorn corals of the world: a revision of the coral genus *Acropora* (Scleractinia; Astrocoeniina;

Acroporidae) worldwide, with emphasis on morphology, phylogeny and biogeography. CSIRO Publishing,

Collingwood

Wallace, C. C., Chen, C. A., Fukami, H., Muir, P. R. (2007) Recognition of separate genera within *Acropora* based on

new morphological, reproductive and genetic evidence from *Acropora togianensis*, and elevation of the subgenus

Isopora Studer, 1878 to genus (Scleractinia: Astrocoeniidae; Acroporidae). *Coral Reefs* 26: 231-239

Wallace, C. C., Done, B. J., Muir, P. R. (2012) Revision and catalogue of worldwide staghorn corals *Acropora* and

Isopora (Scleractinia: Acroporidae) in the Museum of Tropical Queensland. *Memoirs of the Queensland Museum*

57: 1-255

山里清・西平守孝 (1977) I 中城湾のサンゴ礁. 日本環境科学研究所編 中城湾海域生態調査 - 野外実態調査

- , 日本環境科学研究所, 浦添, pp 1-103

凡例

ID	採集場所	採集水深	採集日	採集者	保存状態	備考
----	------	------	-----	-----	------	----

ID は、琉球大学資料館(風樹館)の標本登録番号である。採集場所、採集水深、採集日と採集者は、オリジナルラベルに記載されていたものを編集して記した。